



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 8 月 4 日

上場会社名 ユニチカ株式会社 (コード番号: 3103 東証第一部、大証第一部)

(URL <http://www.unitika.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 大西 音文

問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長 氏名 大槻 和夫

T E L : (06)6281-5721

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容) 引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
連結(新規) 1 社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	50,767	0.1	1,706	△52.3	1,364	△56.4	510	△59.4
18 年 3 月期第 1 四半期	50,723	6.4	3,579	132.2	3,130	126.1	1,256	780.7
(参考)18 年 3 月期	215,957		14,206		11,695		4,504	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	1.07	—
18 年 3 月期第 1 四半期	2.64	—
(参考)18 年 3 月期	9.47	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

【経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等】

本年度第 1 四半期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)は、国内景気は引き続き回復基調となったものの、石化原燃料価格が更に高騰する状況で推移しました。

このような情勢の下、当社グループは本年 4 月から新たな中期経営 3 年計画「New Progress (NP) - 8」をスタートしておりますが、当第 1 四半期につきましては、不動産事業に係る収益の減少などの影響もあり、売上高は 50,767 百万円、営業利益は 1,706 百万円、経常利益は 1,364 百万円、四半期純利益は 510 百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

【高分子事業】

フィルム事業では、ナイロンフィルムがアジア地域での価格競争激化などの影響を受けるとともに、ポリエステルフィルムが海外品流入による市況悪化の影響を受け、低調に推移しました。樹脂事業では、自動車部材、電気・電子部品関連を中心に機能性樹脂の拡販が進むなど堅調に推移しました。不織布事業では、米国向けを中心として輸出が伸長したほか、ルーフィング用途も回復の兆しがみえるなど堅調に推移しました。尚、原燃料価格が高騰する中、引き続き各事業ともコストダウン及び製品価格改定などにより、収益の確保に努めました。

【環境・機能材事業】

環境事業では、公共事業の縮減や他社との競合激化の影響などが続く中、焼却炉関連などで受注の改善はみられるものの、当四半期での収益回復には至りませんでした。機能材事業では、ガラス繊維のＩＣクロスが伸長するとともに、産業資材向け用途も堅調に推移しました。また活性炭繊維、ガラスビーズも堅調に推移しました。

【繊維事業】

合成繊維事業では、原燃料価格の高騰に対し、引き続きコストダウン及び製品価格の改定などに取り組みました。ポリエステル長繊維は衣料分野を中心に低調でしたが、商品構成の改善が進んだナイロン繊維が健闘するとともに、セメント補強用ビニロン繊維が堅調に推移しました。一方、天然繊維事業は、ユニフォーム分野、製品OEMビジネスの受注競争激化及び原料価格高騰の影響により厳しい状況で推移しました。

【生活健康・その他事業】

生活健康事業では、メディカル分野が概ね計画通り推移しましたが、健康補助食品分野が伸び悩みました。その他事業では、マンション販売が堅調に推移しましたが、営業用不動産のスポット的な収益が減少しました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	324,457	38,598	10.4	71.28
18年3月期第1四半期	336,262	29,923	8.9	62.90
(参考)18年3月期	331,836	35,307	10.6	74.23

(注) 当第1四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しています。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ7,378百万円減少し、324,457百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

少数株主持分を含む純資産は、前期末（少数株主持分及び資本の合計）に比べ1,394百万円減少し、38,598百万円となりました。主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の減少であります。

(参考)

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	106,000	4,500	2,000
通期	225,000	12,000	5,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 11円 56銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は、当初の予想どおり推移しており、業績予想の修正はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、セグメント情報

## (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第1四半期 (18.6.30現在)	前期 (18.3.31現在)	増減	前第1四半期 (17.6.30現在)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	13,426	15,352	△1,925	18,876
受取手形及び売掛金	46,712	52,236	△5,524	51,326
たな卸資産	61,960	60,214	1,746	59,819
その他の流動資産合計	9,257	8,843	413	7,131
	131,356	136,647	△5,290	137,153
II 固定資産				
有形固定資産	165,370	165,666	△296	168,861
無形固定資産	1,395	994	400	947
投資その他の資産	26,335	28,527	△2,192	29,300
固定資産合計	193,100	195,189	△2,088	199,108
資産合計	324,457	331,836	△7,378	336,262
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	32,954	35,772	△2,817	35,346
短期有利子負債	105,445	99,933	5,511	105,624
その他の流動負債合計	20,480	23,155	△2,675	22,882
	158,880	158,861	19	163,853
II 固定負債				
長期有利子負債	94,523	99,500	△4,976	102,669
退職給付引当金	4,940	5,939	△999	7,348
その他の固定負債合計	27,515	27,542	△27	28,012
	126,979	132,982	△6,003	138,029
負債合計	285,859	291,844	△5,984	301,882
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	4,684	—	4,456
(資本の部)				
I 資本金	—	23,798	—	23,798
II 資本剰余金	—	1,661	—	1,661
III 利益剰余金	—	4,766	—	1,562
IV 土地再評価差額金	—	3,987	—	4,016
V その他有価証券評価差額金	—	2,749	—	1,079
VI 為替換算調整勘定	—	△1,625	—	△2,170
VII 自己株式	—	△30	—	△23
資本合計	—	35,307	—	29,923
負債、少数株主持分及び資本合計	—	331,836	—	336,262
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	23,798	—	—	—
資本剰余金	1,661	—	—	—
利益剰余金	4,482	—	—	—
自己株式	△31	—	—	—
株主資本合計	29,909	—	—	—
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,576	—	—	—
繰延ヘッジ損益	10	—	—	—
土地再評価差額金	3,831	—	—	—
為替換算調整勘定	△1,422	—	—	—
評価・換算差額等合計	3,995	—	—	—
III 少数株主持分	4,692	—	—	—
純資産合計	38,598	—	—	—
負債及び純資産合計	324,457	—	—	—

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第1四半期 (18.4.1~18.6.30)	前第1四半期 (17.4.1~17.6.30)	増減	前期 (17.4.1~18.3.31)
I 売上高	50,767	50,723	43	215,957
II 売上原価	41,130	39,175	1,954	169,735
売上総利益	9,637	11,548	△1,910	46,221
III 販売費及び一般管理費	7,930	7,968	△37	32,014
営業利益	1,706	3,579	△1,873	14,206
IV 営業外収益				
受取利息・配当金	160	146	13	436
持分法による投資利益	129	—	129	14
その他	941	620	321	2,282
営業外収益計	1,231	767	464	2,733
V 営業外費用				
支払利息	927	945	△18	3,703
持分法による投資損失	—	18	△18	—
その他	646	252	394	1,541
営業外費用計	1,573	1,216	356	5,244
経常利益	1,364	3,130	△1,765	11,695
VI 特別利益	9	—	9	1,619
VII 特別損失	287	503	△216	5,351
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,087	2,626	△1,538	7,963
税金費用	615	1,299	△683	3,397
少数株主利益(△は損失)	△38	70	△108	61
四半期(当期)純利益	510	1,256	△746	4,504

## セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期（18.4.1～18.6.30）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	16,107	5,274	23,384	6,000	50,767	—	50,767
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	961	167	108	780	2,017	(2,017)	—
	17,068	5,441	23,493	6,781	52,784	(2,017)	50,767
II. 営業費用	15,582	5,818	23,484	5,700	50,585	(1,524)	49,060
営業利益（△は損失）	1,486	△377	9	1,081	2,199	(492)	1,706

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は511百万円であります。

前第1四半期（17.4.1～17.6.30）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,766	4,669	24,010	6,276	50,723	—	50,723
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	1,065	44	100	667	1,878	(1,878)	—
	16,831	4,714	24,111	6,944	52,602	(1,878)	50,723
II. 営業費用	14,674	4,956	23,820	4,906	48,356	(1,212)	47,144
営業利益（△は損失）	2,156	△241	291	2,038	4,245	(665)	3,579

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は662百万円であります。

前期（17.4.1～18.3.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	62,490	27,033	103,007	23,426	215,957	—	215,957
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	4,429	606	443	3,178	8,658	(8,658)	—
	66,919	27,640	103,450	26,605	224,615	(8,658)	215,957
II. 営業費用	58,630	25,259	100,744	22,659	207,292	(5,542)	201,750
営業利益	8,289	2,381	2,705	3,946	17,322	(3,115)	14,206

（注） 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は3,229百万円であります。